

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院外来診療医担当表

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
総合診療	内科予約2診	[内科] (糖尿) 岸本 祥平		[内科] (循環器) 水越 正人		[内科] (糖尿) 栗栖 清悟 [内科] (肝臓) 佐藤 博明				[内科] 栗栖 清悟	
	内科予約3診	[内科] (糖尿) 応援医師		[内科] (糖尿) 岸本 祥平		[内科] (肝臓) 田中 寛人		[内科] 中西 一郎		[内科] 岩下 裕	
	内科予約4診	[内科] 山根木 美香		[内科] (呼吸器) 上谷 光作		[内科] (循環器) 山本 勝廣 [内科] (糖尿) 栗栖 清悟		[内科] 山根木 美香		[内科] (循環器) 小林 克暢	
	内科新患5診	[内科] 田中 (岩下)		[内科] 栗栖 清悟		[内科] 山根木 美香		[内科] 岸本 祥平		[内科] 上谷 光作	
	外科診	[外科] 櫻井 照久		[外科] 櫻井 照久		[外科] 鈴間 孝臣 [第2週] [外科] 佐々木 恵里 [不定期]		[外科] 櫻井 照久 (不定期)			
脊椎ケアセンター	第6診察室	[脳神経外科] 大岩 美嗣		[神経内科] 中西 一郎		[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 大岩 美嗣 応援医師		[脳神経外科] 上野 雅巳 [第1週] [脳神経外科] 大岩 美嗣	
	第7診察室	[センター長] 川上 守		[センター長] 川上 守						[センター長] 川上 守	
	第8診察室	[整形外科] 籠谷 良平		[整形外科] 寺口 真年		[整形外科] 寺口 真年		[整形外科] 籠谷 良平		[整形外科] 籠谷 良平	
	リハビリテーション科	隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政	
眼科	泉谷 愛	溝口 晋	宮本 武	溝口 晋	泉谷 愛	こども外来 (斜視も診ています)	溝口 晋	黄斑外来	宮本 武	術前外来	
小児科	戸川 寛子	予防接種	樋口 隆造		戸川 寛子	予防接種	樋口 隆造		戸川 寛子		

※平成29年7月から内科医師2名を増員しています。内科の外来診療枠を増やすとともに、入院診療では内科医によるチーム医療を行い、さらに充実した医療を提供してまいります。 2017年10月1日現在

※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

※各種専門外来 (禁煙外来、フットケア、緩和ケア、脊椎ケア、認知症ケア、感染対策) を実施していますので、関心のある方は一度ご相談ください。

初めて外来診察を受ける方へ

当院では、少しでもお待ちいただく時間を短縮するため、外来診察は原則予約制とさせていただきます。

◇医療機関からのご予約

- ①「予約申込書 (様式PDF)」 (ホームページに掲載) を地域医療連携室にFAX送信してください。
- ②予約時間、医師名を記載した予約票をFAXで送信します。
- ③患者さんに予約票と紹介状をお渡しください。
- ④予約当日は予約票・紹介状・診察券 (受診歴のある方)・保険証を持って総合受付で受付をしてください。
FAX: 0736-22-8275 受付時間 9:00~17:00 (月~金曜日、祝日・年末年始除く)

◇ご本人からのご予約

- ◆紹介状をお持ちの方
地域医療連携室で予約をお取りします。
TEL: 0736-22-8250 受付時間 8:45~17:30 (月~金曜日、祝日・年末年始除く)
- ◆紹介状をお持ちでない方
予約センターで予約をお取りします。
TEL: 0736-22-4600 受付時間 8:45~15:00 (月~金曜日、祝日・年末年始除く)



【お知らせ】

- ・平成29年10月より内科に中西一郎助教と岩下裕学内助教が着任しました。
- ・平成29年9月末で森田修平助教と青木浩学内助教は退任し、和歌山県立医科大学本院勤務になりました。
- ・次回の紀北分院通信「あじさい」冬号は1月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 川上 守

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219 TEL0736-22-0066 FAX0736-22-2579
ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

2017年10月発行



和歌山県立医科大学附属病院紀北分院通信



あじさい



vol.22
2017秋号



紀北健康講座・紀北健康出前講座の開催日

【紀北健康講座】

「ワクチンで防げることももの病気について」
はしか、風疹、水ぼうそうなどワクチンで防ぐことのできる感染症のおはなしです
小児科 戸川寛子助教
10月27日(金) 16:00~17:00
当院3階A会議室

【紀北健康出前講座】

- ◆「緑内障とは」
眼科 泉谷愛講師
10月20日(金) 14:00~15:30
橋本市産業文化会館
- ◆「腰痛を治そう」
整形外科 寺口真年助教
10月25日(水) 14:00~15:00
九度山町稚出児童館

【掲載内容】

- ◆ 乳がん検診の新しい情報
- ◆ 新任ドクターの挨拶
- ◆ 紀北健康講座・紀北健康出前講座
- ◆ 内科の紹介
- ◆ 眼科の紹介
- ◆ 外来診療医担当表
- ◆ 初めて外来診察を受ける方へ



乳がん検診の新しい情報



外科
助教 櫻井 照久
専門 乳腺外科

平成 29 年 3 月 21 日に乳がん検診に関して日本乳癌検診学会・日本乳癌学会・日本乳がん検診精度管理中央機構が共同で声明を出しました。内容は対策型乳がん検診における「高濃度乳房」の扱いに関してで、テレビや新聞でも取り上げられました。分かりやすいといえますと、かつらぎ町、橋本市のように自治体が行っている乳がん検診は、皆さまがよくご存じのマンモグラフィ(乳房 X 線撮影)検診ですが、マンモグラフィ所見でいわゆる「高濃度乳房」と呼ばれる乳腺濃度の高い乳房では異常所見が見えにくい、つまりは早期発見できない事例が出てくるということです。従って、マンモグラフィは優れた検査ですが、高濃度乳房の方に対しては、盤石な検査ではないと考えられます。

高濃度乳房の方は乳がんになりやすいことも知られておりますので、高濃度乳房は重要な問題です。では、他の検査ということになりますと、乳房超音波検査があります。但し、乳房専用の超音波装置による検査です。乳房超音波検査は高濃度乳房の方でも大丈夫で見えにくいといったことはありませんが、大きな特に厚みのある乳房は得意ではありませんので、すべての方に乳房超音波検査が適している訳ではありません。近年、東北大学が中心になって行った日本の大規模研究で、マンモグラフィと乳房超音波検査を同時に行うことで乳がんの発見は 1.5 倍に増えることが明らかにされました。当院と和歌山県民総合検診センターが協力して行った研究(乳腺濃度と乳房体積の研究)では、乳腺濃度が高くなる(高濃度)につれて、乳房の大きさ(体積)が小さくなる傾向があるという結果が得られました。マンモグラフィと超音波検査の両者の併用が良いのはいうまでもありませんが、今後まずは、マンモグラフィと超音波検査の選択の方向に進んでいくように思います。機会がありましたら、いずれの検査が適しているのかなど、乳腺専門医に相談されてはいかがでしょうか。

新任ドクターの挨拶



脊椎ケアセンター
助教 籠谷 良平
専門 脊椎・脊髄外科
の診断と治療

この度、脊椎ケアセンターに着任しました籠谷良平と申します。本年6月まで和歌山県立医科大学の本院で働いておりました。昨年度より当院で働いている寺口先生とは大学生からの同級生です。専門は脊椎脊髄疾患です。紀北地域の地域医療に貢献できるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

紀北健康講座・紀北健康出前講座

当院では、住民の皆さんに診療内容について一層のご理解をいただくとともに、疾病の予防・早期発見や健康づくりに役立ててもらうため、「紀北健康講座」と「紀北健康出前講座」を開催しています。是非、お気軽にご参加ください。

【紀北健康講座】

各診療科の医師が毎月1回、最新の医療情報や治療・予防方法などをわかりやすくお話しします。また、薬剤師による各種疾病のお薬の話や管理栄養士による疾病予防のための食事の話なども併せて行うこともあります。参加費は無料。申込みは不要。

講演テーマ：ホームページや院内掲示板及び開催日でご確認ください。

場所：当院 3階 A 会議室

【紀北健康出前講座】

各診療科の医師等が地域に出向いて、医療・看護・リハビリテーションなどの様々なテーマについてわかりやすくお話しします。各種研修や集会の際にご利用ください。

申し込み方法は当院ホームページ掲載の申込用紙により申込みください。費用は無料。ただし、会場の手配やそれに係る費用は申込者の負担でお願いします。

講演テーマ：ホームページに掲載しています。

参加者数：概ね 10 名以上

申込期限：開催希望日の 1ヶ月前まで

内科の紹介



内科
講師 田中 寛人
専門 肝臓病、消化器病
内科

当院内科は、高齢者が多い地域の特徴から、特定の臓器や疾患に限定することなく、幅広く総合的に診察する総合内科診療に取り組んでいます。各医師が専門分野を極めると同時に、お互いに協力しながら専門外の病気にも積極的に診療に当たっています。

常勤スタッフは、佐々木教授(糖尿病・内分泌)、田中寛人講師(消化器・肝臓)、上谷光作講師(呼吸器)、栗栖清悟助教(糖尿病)、山根木美香学内助教(内科一般)、岸本祥平学内助教(糖尿病)に加え、現在は神経内科学教室から中西一郎助教、腎臓内科学教室から岩下裕学内助教の応援を得て診療に当たっています。

本年7月から、医大本院から地域医療の重要性について理解を得て、内科医2名の増員が図られました。外来診療では、従前から「断らない医療」の取組の一環として総合内科診療を新患 5 診枠として開設しているほか、加えて外来診療枠を増やすことができるようになり、外来診療の充実が図られました。入院診療では、内科医チーム制を導入し、チーム内で情報の共有を図ることで診療の質の向上に

取り組んでいます。さらに内科医が増えたことで、7月から全日の内科当直体制が整い、救急受入要請にも対応しやすくなりました。

また、2年前より大学附属病院では稀な「地域包括ケア病床」を一般病棟内に開設しています。比較的長期の入院やリハビリテーション治療も行えるようになっており、地域に密着した医療がさらに充実できるものと確信しています。

眼科の紹介



眼科
准教授 宮本 武
専門 網膜硝子体手術
屈折矯正手術

当院眼科は、以前から白内障を中心に幅広い眼疾患の治療を行っています。本年4月から眼科医1名増員されて眼科専門医3人体制となり、紀北地域の眼科医療をさらに充実させることができました。

外来診療は月曜日から金曜日の午前及び午後に行っており、一般外来に加えて、こども外来(水曜日午後)と黄斑外来(木曜日午後)、術前外来(金曜日午後)の特殊外来を開設しています。こども外来は、斜視・弱視屈折異常などお子様に多い眼の病気を中心に診療しています。黄斑外来は、近年増加傾向にある加齢黄斑変性と網膜静脈閉塞症や糖尿病網膜症に伴う黄斑浮腫を中心に診療しており、黄斑上膜や黄斑円孔、増殖糖尿病網膜症などの硝子体手術にも対応しています。

手術に関しては、白内障手術が大部分を占めており、現在、白内障手術は、患者さんのご希望に応じて、1泊2日もしくは日帰りで片目ずつの手術を行っています。また、硝子体注射、斜視や外眼手術も積極的に行っています。地域の開業医の先生方から多数の患者さんをご紹介いただいております。近年、手術件数も大きく増加しています。

当院は、平成 29 年 7 月より白内障手術において厚生労働省が定める先進医療「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」の認定施設として認められ、焦点深度を深くした最新の多焦点眼内レンズを県内でも最も早く導入しています。多焦点眼内レンズを検討されている方は当院眼科までご相談ください。

最近では外来診療の待ち時間が長いのご指摘もいただいておりますが、本年4月から眼科医スタッフの充実を図り外来診療枠を増やしており、これからも患者さんの待ち時間が短縮できるよう努力いたします。

今後も、地域医療に貢献するために眼科スタッフ一同努力させていただきますので、目のことで気になることがあればどうぞお気軽にご相談ください。